

■地域づくりの方針

交通条件の高まりを活かした都市機能強化と、特色ある農村環境・自然環境の共生による、活力ある地域づくり

- ◆ 奥南庁舎周辺において、公共施設や生活に身近な商業・サービス施設、医療・福祉施設等の集積を図り、西部の拠点としてふさわしい地域生活拠点の形成を図ります。
- ◆ 将来、東海環状自動車道（仮称）大野・神戸ICに近接するという地域性とアクセス道路である主要地方道岐阜奥南大野線バイパスの整備に伴う交通条件を活かし、産業の集積を図ります。
- ◆ 河川（揖斐川、根尾川、犀川等）の自然環境、柿畑などの果樹園や花き農地、水田等の農村風景、伊久良河宮跡などの歴史資源等を保全・活用し、地域の魅力向上を図ります。

〈地域構造〉

分野	内容		
土地利用	工業地	： 地域中部、南部	
	沿道複合地	： (主)岐阜奥南大野線バイパス沿い	
	農地・集落地	： 上記以外	
	自然環境地	： 揖斐川	
道路・交通	幹線道路	(主)岐阜奥南大野線バイパス (一)昔井中島美江寺大垣線	
	公共交通	バス ： 岐阜バス(美江寺・穂積線) ： みずほバス(本田・唐栗線)	
拠点	都市拠点レベル	地域生活拠点 健康づくり拠点・市民交流拠点 身近な防災拠点	
	地域の暮らしに 密着した拠点	： 奥南庁舎周辺地区 ： 西ふれあい広場 ： 西部複合センター等	
		身近な健康・交流拠点	： 西ふれあい広場等の公園
		身近な歴史・文化拠点 身近な自然・交流拠点	： 伊久良河宮跡等 ： 犀川等

〈重点施策〉

分野	施策名	内容	実施主体
道路・交通 づくり	東海環状自動車道の整備	・ 活発な産業活動や交流拡大につながる広域的な幹線道路として、整備を促進します。	【国】
	主要地方道岐阜奥南大野線バイパスの整備	・ 東海環状自動車道（仮称）大野・神戸ICへのアクセスを確保し、活発な産業活動や交流拡大につながる幹線道路として、整備を促進します。	【県】
	中山道の歩行空間の整備	・ 中山道における歩道等の整備、誘導サインの設置等により、観光・交流に寄与する歩行者ネットワークの形成を図ります。	【地域住民、事業者、県、市】
	奥南庁舎周辺における交通結節機能の強化	・ 地域生活拠点周辺の賑わい創出や交流拡大のため、バス停留所、アクセス道路、駐輪場等の整備を推進します。	【事業者、市】
水・緑づくり	犀川、長護寺川等の河川環境（桜並木・緑地）の保全、親水空間の整備（散策路等）	・ 水と緑のネットワークの主軸として、自然とのふれあいや環境学習の場として活用できるよう、河川改修とあわせて親水空間を整備するとともに、河川環境の保全を図ります。	【地域住民、市】
市街地づくり	地域生活拠点の形成（奥南庁舎周辺）	・ 生活利便施設の集積、交通結節機能の向上等、地域住民の日常生活の利便性を向上させる拠点の形成を図ります。 ・ 市民の憩い、ふれあい、健康づくり等を支える拠点的な市民交流拠点を整備します。	【地域住民、事業者、市】
	土地利用のルール検討（特定用途制限地域等）	・ 無秩序な宅地開発を抑制するとともに、良好な住環境・営農環境と調和した適正かつ合理的な土地利用を誘導します。	【地域住民、事業者、市】
都市環境づくり（防災、景観、環境）	犀川、長護寺川等の河川改修	・ 大雨による洪水被害を軽減するため、河川改修を促進します。	【県】
	伊久良河宮跡・富有柿の母木等の保全・活用	・ 歴史的資源として保全し、観光・交流空間としての活用方法を検討します。	【地域住民、事業者、市】
	防災活動拠点の防災機能の向上（奥南庁舎等）	・ 防災活動拠点である公共施設などの防災機能の向上を図ります。	【市】

〈西地域 地域構造及び重点施策図〉



〈地域全般に関する施策〉

- 安全な歩行空間の整備（全機編109編）
- 公共交通の充実（全機編109編）
- 身近な公園の整備（全機編104編）
- 果樹園・花き生産農地、水田など優良農地の保全・活用（全機編104編）
- 集落地の住環境の改善（全機編105編）
- 橋梁の耐震化（全機編100編）
- 建築物の耐震化・不燃化（全機編100編）
- 景観計画の策定（全機編101・102）

現計画(H23.10)

地域別構想-西地域

■地域づくりのビジョン

西地域の将来像：市西部の市民生活を支える便利で快適なまち

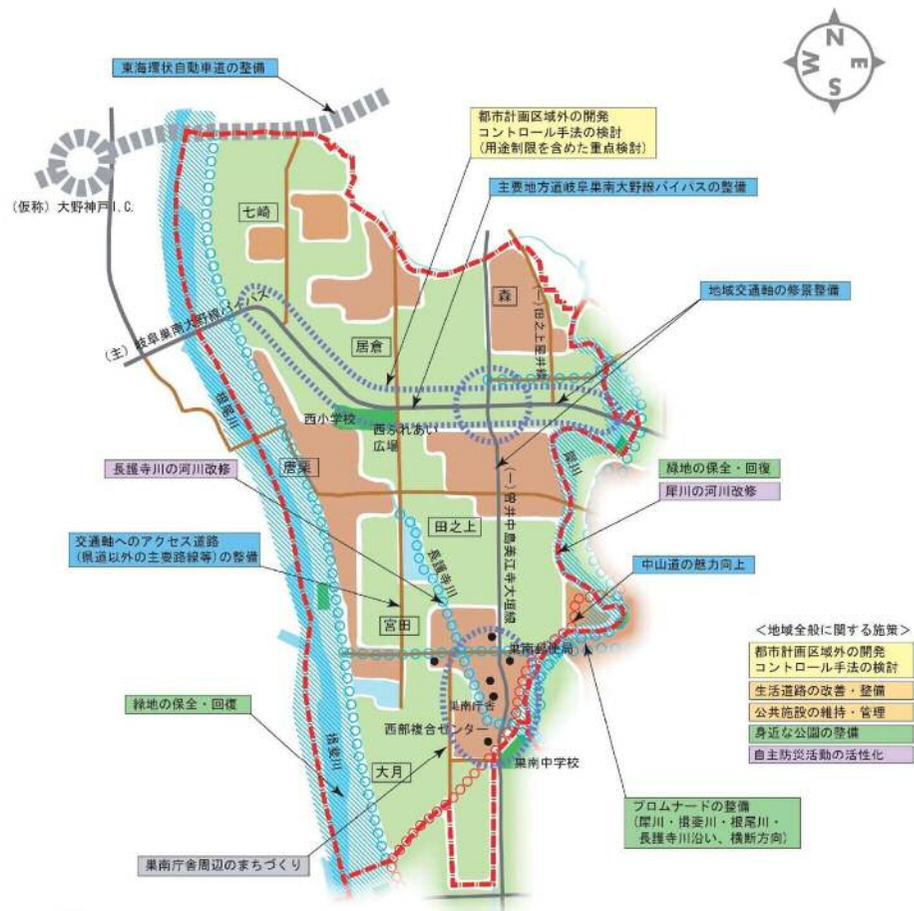
- ◆ 栗南庁舎周辺を中心とした利便性・シンボル性の高い空間づくりを進めます
- ◆ 新たな東西交通軸の形成や沿道の活用等により生活利便性の向上を図ります
- ◆ 田園風景と調和したやすらぎのある住環境づくりを進めます

■実施することを予定する主要施策

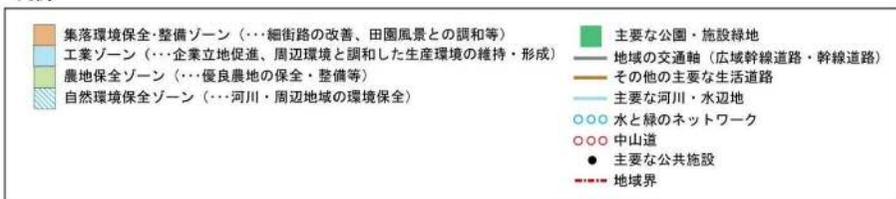
項目	主要施策名	実施主体	実施時期の見込み			備考
			短期	中期	構想	
1. 都市的土地利用の計画的なコントロール	①都市計画区域外の開発コントロール手法の検討	県、市		○		※地域全域での準都市計画区域の指定検討。 ※主要地方道岐阜県南大野線バイパス沿道は、特定用途制限地域等による用途制限を含めて重点検討。 ※東海環状自動車道 I.C. 及び(主)岐阜県南大野線バイパスの整備スケジュールとの整合性に留意。
2. まちの賑づくり	①栗南庁舎周辺のまちづくり	市	○	⇒		※親水公園の整備、スポーツ・レクリエーション施設の整備等。
3. ゆとりある田園居住環境の保全・整備	①公共施設の維持・管理	地域住民、市	○	⇒		※花の里観事業、アダプトプログラムの適用検討を含む。
	②生活道路の改善・整備	市	○	⇒		※農業振興施策とも連携。 ※新たな田園居住の増づくりの検討を含む。
4. 身近な自然環境の保全・活用	①緑地の保全・回復(犀川・揖斐川・根尾川及び周辺地域)	地域住民、市	○	⇒		※環境美化活動等。 ※河川改修とも連携。
	②プロムナードの整備(犀川・揖斐川・根尾川・長狭寺川沿い、横断方向)	市	○	⇒		※歩行空間、休憩施設等の整備検討。 ※長狭寺川は河川改修にあわせて優先着手。
	③身近な公園の整備	市	○	⇒		※各地区のまちづくり施策にあわせて適宜整備・誘導。
5. 道路・交通環境づくり	①主要地方道岐阜県南大野線バイパスの整備	県		○		
	②交通軸へのアクセス道路(県道以外の主要路線等)の整備	市		○	⇒	
	③中山道の魅力向上	地域住民、市			○	※案内板、休憩施設の整備等。 ※プロムナード整備とも連携。
	④地域交通軸の修景整備	県、地域住民	○	⇒		※屋外広告物の規制・誘導、植樹・緑化等。 ※花の里観事業、アダプトプログラムの適用検討との連携。
	⑤東海環状自動車道の整備	国			○	
6. 地域の防災力向上	①犀川の河川改修	県			○	
	②長狭寺川の河川改修	県	○	⇒		
	③自主防災活動の活性化	地域住民	○	⇒		※防災会議の実施、危険箇所の確認等。

※短期…概ね5年以内に着手 中期…概ね10年以内に着手 構想…着手時期未定 ⇒…継続
※ここで示す施策は、まちづくりに関して行う主要なものであり、すべての施策を網羅するものではありません。

〈西地域 地域づくり構想図〉



凡例



〈地域全般に関する施策〉

- 都市計画区域外の開発コントロール手法の検討
- 生活道路の改善・整備
- 公共施設の維持・管理
- 身近な公園の整備
- 自主防災活動の活性化